

## がんゲノム診療科 紹介方法

がんゲノム診療科に患者さんを紹介していただく場合は、まず**患者さんの疾患の主科となる診療科**にご紹介ください。主科より、**がんゲノム診療科**に紹介となります。 ※原発不明がんの場合は、直接「がんゲノム診療科」宛にご紹介ください。



### 主科への紹介方法

東京医科歯科大学医学部附属病院  
医療連携支援センター 地域連携室までご連絡ください。  
TEL: 03-5803-4655  
医療機関からの予約受付時間: 8時30分～16時



詳しい紹介方法と診療科のご案内は「ご紹介お役立ちBOOK」にあります。

### 救急プライオリティーコール (医療機関からのお問い合わせのみ)

近隣地域の医療機関の皆様とより密接な連携を構築するために、救急専門医・専従医が24時間365日対応する「救急プライオリティーコール」を開設しています。



03-5803-4900 (至急応援)

### メールマガジンにご登録ください!

医療連携支援センターでは、メールマガジンを発行しております。当院ホームページより医療連携支援センターにアクセスし、オレンジ色の「メルマガ申込」からご登録ください。



医療機関からの初診事前予約について お問い合わせ先 03-5803-4655 (地域連携室)

### FAX予約の場合

FAX: 03-5803-0285

(受付時間 8:30～16:00)

上記番号に、紹介状・申込書を送信してください。速やかに当院よりFAXで「外来診療予約票」を返信します。

\*土日祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)、および受診当日の予約は受け付けておりません。また、翌日分の予約は14時までとなっております。  
\*時間外・休日などの申込みは翌診療日にご連絡させていただきます。(FAX受信は24時間可能)

### 電話予約の場合

TEL: 03-5803-4655

(受付時間 8:30～16:00)

上記番号に、電話をおかけください。その際に患者さんの氏名・生年月日・希望診療科名・予約希望日をお知らせください。

### カルテ閲覧のご案内

当院と連携協定を結んでいる医療機関様に限り、地域連携システムを利用して、当院カルテの閲覧が可能になります

連携医療機関様の大きな負担なしで利用可能です

インターネットに接続できるパソコンが1台あればOK! 上記の要件を満たしていれば、既存の端末を使用しても構いません。



### 要件

1. インターネットに接続できる環境があること。また、PCの設置場所は施錠できる環境にあること。
2. Microsoft社のサポート期間内のOSにて動作するパソコンを使用すること。
3. Microsoft社のサポート期間内のInternet Explorerを使用すること。
4. 有償のウイルス対策ソフトを実施し、Winnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。
5. PDFファイルの閲覧にはAdobe社のサポート期間内のPDF閲覧ソフトを使用すること。

★これらの要件を満たしていれば、申込みいただけます!

1. 申請書の提出。
2. 提出いただいたのち、接続させていただけるか検討いたします。
3. 決定後、順次連携医療機関様へ伺って、接続を行います。

※申込み多数の場合は、利用するまでにお時間がかかる場合がございます。

連携協定及びカルテ閲覧の申込み 医療連携支援センター 03-5803-4391

東京医科歯科大学医学部附属病院 医療連携だより 22号 (2020年3月発行)

発行 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学医学部附属病院医療連携支援センター

TEL: 03-5803-4655 FAX: 03-5803-0119 予約専用FAX: 03-5803-0285 http://www.tmd.ac.jp/renkei/

本書の無断複製(コピー)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。



# 医療連携だより

御茶の水通信

No.22

- 東京医科歯科大学医学部附属病院の理念と基本方針
- 理念: 安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院
  - 目標: 1. 患者中心の良質な全人的医療の提供  
2. 人間性豊かな医療人の育成  
3. 高度先進医療の開発と実践  
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

医療連携支援センター TEL: 03-5803-4655 (地域連携室) FAX: 03-5803-0119 予約専用FAX: 03-5803-0285



財団法人日本医療評価機構 認定病院

## 2019年度医療連携会が開催されました



東京医科歯科大学 医学部附属病院 医療連携支援センター長 (病院長補佐) 泉山 肇

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。令和2年2月6日、令和になり初めての「2019年度東京医科歯科大学医療連携会」を地域医療機関の皆様のお力添えにより開催することができました。今年度で7回目の開催となりましたが、例年に勝るとも劣らない多くの医療機関の皆様にご参集いただき盛会のうちに終えることができました。年々、参加申込をいただく医療機関が多くなっており、心より御礼申し上げます。

今年度は、昨年9月にがんゲノム医療拠点病院となったことをご案内する意味を込めて、医学部附属病院がんゲノム診療科 池田貞勝先生に「がんゲノム診療と医療連携」と題して講演をいただきました。分子標的薬の開発が進む中、遺伝子変異により治療を個別化することが可能となり、効率的な治療が可能となった現状を多くのデータと症例提示をもとに分かりやすく講演いただきました。その中で、医療連携が今後果たすべき様々な課題も提示いただきました。

医科と歯科をあわせもつ東京医科歯科大学が、最新の治療を地域の皆様に提供するためには地域医療機関の皆様とのスムーズな病診連携、病病連携を構築することがとても重要と考えております。引き続き皆様からのご指導、ご支援またご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談

### TOPICS

- 医療連携支援センター長のご挨拶
- 医療連携会開催報告
- がんゲノム診療科 紹介方法
- 初診事前予約方法・メールマガジン登録
- カルテ閲覧のご案内



# 医療連携会が 開催されました

2020年2月6日、第7回医療連携会を東京医科歯科大学M&Dタワーで開催し、医師会・歯科医師会・薬剤師会、病院・クリニックなど、127の医療機関の先生・関係者の皆様、総勢226名の皆様にご参加いただきました。第1部は「がんゲノム診療と医療連携」というテーマでがんゲノム診療科 池田 貞勝科長が講演を行いました。第2部の懇親会では、日本橋医師会 津布久 裕会長に乾杯のご発声をいただき、日頃お世話になっている地域医療機関の皆様と交流し、貴重なご意見を伺うことができました。



## 開会挨拶

東京医科歯科大学 理事（医療担当）  
副学長  
田中 雄二郎

本日はこの冬一番の寒さの中、たくさんの方にお越しいただき、厚く御礼申し上げます。医療連携会も今年で7回目となり、年を重ねるごとに増えて下さる方が増えており、スタッフ一同、大変嬉しく感じております。

現在私は、医療担当理事を務めておりますが、4月1日より学長に就任させていただきます。よろしくお願いいたします。

また2021年10月には医学部附属病院と歯学部附属病院を一体化し、医科と歯科の特色を活かした最高水準のトータル・ヘルスケアを提供する大学病院としてスタートし、人々の豊かな生活に貢献したいと考えております。

地域の皆様にトータル・ヘルスケアを提供するためには、地域医療の現場でご活躍中の皆様のご協力が必要です。ぜひ本日の医療連携会を通じて、東京医科歯科大学および医学部附属病院・歯学部附属病院を知っていただき、皆様とさらに良い関係を今後も継続して築くことができれば幸いです。



## 講演演題 がんゲノム診療と医療連携

演者  
東京医科歯科大学医学部附属病院  
がんゲノム診療科 科長  
池田 貞勝

2019年6月より保険診療が可能となったがんゲノム医療は、テレビや雑誌などで盛んに取り上げられております。がんゲノム医療とは、遺伝子変異に基づいて治療を選択する個別医療です。遺伝子変異に対応した治療は、遺伝子変異に対応しない治療よりも奏功が高いことが期待され、臨床的有用性を示す研究結果も出はじめています。当院では、がんゲノム診療科が本治療を担当しております。

2000年代後半に登場した次世代シーケンサーにより、2万以上もの遺伝子が一度に解析できるようになりました。最近では、スマートフォンで簡単にゲノム解析ができる技術も開発中です。アメリカでは2015年にオバマ大統領主導で「The Precision Medicine Initiative」と題したプロジェクトを立ち上げ、ゲノム医療の推進に乗り出しました。日本でも同時期に、がんゲノム医療の体制整備に着手し、がんゲノム医療中核拠点病院（11機関）、がんゲノム医療拠点病院（34機関）、がんゲノム医療連携病院（122機関）が選定されました。当院は、がんゲノム医療拠点病院に指定され、以後患者さんを受け入れております。

対象患者さんは、がんの標準治療がいずれも無効となった（または無効になる見込みを含む）方で、今後の治療に耐え得る健康状態であることが必要です。これまでがんゲノム医療で治療を行った患者さんをご紹介します。一例目は、肝転移・リンパ節転移を認めた食道がんの80代男性です。化学療法での副作用が強かったため治療を拒否され、ホスピスに入院されましたが、体力の回復と共に化学療法以外の治療を希望されました。がんゲノム検査を施行したところ遺伝子変異を認めたため、対応した治療薬で治療を開始、副作用もなく腫瘍が縮小し、旅行に行ったり、孫と遊んだりと生活を楽しめるようになりました。二例目は子宮頸がんの60代女性です。術後再発を認め化学療法を行うも奏功せず、遺伝子検査にて非常に遺伝子変異が多いパターンを認めたため、免疫療法を開始しました。すると30cmほどあった腫瘍が2ヶ月で消失し元気に生活しています。

このように、がんゲノム医療で遺伝子変異に対応する治療薬が見つければ、腫瘍が縮小し、延命できる場合があります。一方、遺伝子変異が見つからない患者さんが約2割いること、遺伝子変異が見つかったも治療薬にたどり着かない患者さんがいることが問題としてあげられます。遺伝子変異に対応する治療薬をいかに導きだすかが、今後のがんゲノム医療の課題です。当院では、60例のゲノム解析で55例に遺伝子変異を認め、44例に治療薬候補が見つかり、23例に治験候補があげられ、12例に治療をおこない、6例に臨床的効果を認めました。

当院では、組織での遺伝子検査のみならず、血液を用いた検査「リキッドバイオプシー」も実施しております。またHER2遺伝子をもつ固形がんに対する医師主導型治験など多数の治験に取り組んでいることも特色です。

該当患者さんがいらっしゃいましたら、是非当院へご紹介ください。

※なお、紹介方法に関しては、裏面の「がんゲノム診療科 紹介方法」をご覧ください。



# Program

## 第1部 講演会

日時 2020年2月6日（木）19時開会  
場所 東京医科歯科大学  
M&Dタワー2階 鈴木章夫記念講堂  
司会 医学部附属病院 医療連携支援センター長  
泉山 肇  
開会挨拶 理事（医療担当）・副学長  
田中 雄二郎  
講演 演題 「がんゲノム診療と医療連携」  
演者 東京医科歯科大学医学部附属病院  
がんゲノム診療科 科長  
池田 貞勝

## 第2部 懇親会

日時 2020年2月6日（木）19時45分  
場所 M&Dタワー26階 ファカルティラウンジ  
司会 医学部附属病院 医療支援課長 高橋 宗久  
開会挨拶 医学部附属病院 筆頭副院長 内田 信一  
乾杯 日本橋医師会 会長 津布久 裕 様  
来賓紹介  
閉会挨拶 歯学部附属病院長 若林 則幸

## 来賓紹介

浅草医師会	副会長	堀 浩一朗	様
足立区医師会	理事	山下 俊樹	様
江戸川区医師会	会長	山上 恵一	様
葛飾区医師会	副会長	青井 東真	様
神田医師会	会長	林 久太佳	様
北区医師会	会長	増田 幹生	様
小石川医師会	会長	中村 宏	様
江東区医師会	会長	福井 光文	様
中央区医師会	副会長	西井 京子	様
千代田区医師会	会長	高野 学美	様
豊島区医師会	理事	高岡 和彦	様
日本橋医師会	会長	津布久 裕	様
文京区医師会	副会長	細部 高英	様
小石川歯科医師会	会長	佐藤 文彦	様
文京区歯科医師会	会長	三羽 敏夫	様
文京区薬剤師会	会長	岩橋 新司	様

